



おぐに議会だより

第9号

平成24年8月10日

いぎ夏本番

黒淵子ども会プール開きでマスのつかみ取り

- ◎陳情採択 『風力発電所建設に伴う土地賃貸借契約』
地方自治法 100 条に基づく特別委員会の設置
- ◎平成 24 年度補正予算・条例改正
- ◎より良い町政へ議員全員が問う（一般質問）
- ◎シリーズわかりやすい議会 編集後記

発行 小国町議会

編集 広報特別委員会

〒869-2592 熊本県阿蘇郡小国町宮原 1567 の 1 TEL.0967-46-2119

地方自治法第100条に基づく 特別委員会を設置

6月14日、町村境及び入会地の問題、上田牧野組合有志一同から提出されていた風力発電所建設に伴う土地賃貸借契約についての陳情を採択し、調査を行うために地方自治法第100条に基づく特別委員会を設置。今後、速やかな解決に向け調査等を行います。



地方自治法の 一〇〇条とは

議会の持つ重要な職責を果たすために、町の事務について調査ができる権限。対象として、町長や他の執行機関だけではなく、選挙人その他の関係人に出頭、証言、記録の提出を請求することができる。また、虚偽の陳述、証言拒否、不出頭、記録の不提出に対しては、議会が告発することとし、制裁として禁固や罰金にも処することができる。調査に関して、きわめて強力な権限を持つ特別委員会。

▶ 専決処分事項の承認

平成23年度小国町一般会計補正予算(第11号) 全議員賛成

J-VER事業に70万円追加。悠木の里づくり事業基金積立に300万円。ネットワーク事業基金積立に90万円。

小国町税条例の一部を改正する条例 賛成:10 反対:1

収入が公的年金だけの人が寡婦(寡夫)控除を受ける場合の申告書の提出が不要になった。また、土地の負担調整措置等は継続、住宅用地の特例は段階的に廃止。 **反対討論▶**

児玉議員:地価は下がっているのに固定資産税が上がるのか。軽減措置の据え置き特例の廃止は容認できない。

小国町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 全議員賛成

東日本大震災被災者のための軽減措置。

▶ 条例改正

小国町印鑑条例の一部を改正する条例について 全議員賛成

外国人のカタカナ表記での印鑑登録が可能になった。(対象28名 6/14現在)

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について 全議員賛成

学校医年額20万円、交通指導隊年額3万円、母子保健推進員、福祉協力員等年額2万4千円、その他の町が委託する場合の非常勤の委員・職員は1日につき、3千円。

鍋ヶ滝公園設置及び管理に関する条例について 全議員賛成

新設された鍋ヶ滝公園の直販所、トイレ等を含む施設の維持、管理の業務に関しての新しい条例を採択。

小国町総合整備計画の策定について 全議員賛成

平成24~28年度の中央と地方との格差を是正するための辺地債を用いた道路の整備、改修、また飲料水供給施設の整備等の計画書を策定。(名原辺地、岳の湯辺地、明里辺地、田原辺地、北河内辺地)

▶ 補正予算

一般会計補正予算(第1号) 全議員賛成

6,893万9千円を追加し、総額49億4,793万9千円とする。

補正の主なもの

・町内での議員の費用弁償の廃止	42万2千円減額
・庁舎2階階段ホールの小国杉での木壁改修工事	250万円
・LED防犯灯購入費	100万円
・容量の不足による光インターネット改修工事	280万円
・小規模多機能型居宅介護施設新築工事補助金	3,000万円
・介護施設等開設準備経費助成事業補助金	540万円
・くまもと稼げる園芸産地育成対策事業補助金(大根の洗浄機13台)	902万円
・中学校プール付近調査測量設計委託料	750万円

小国町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 全議員賛成

60万円を追加し、総額1億302万2千円とする。

坂本善三美術館特別会計補正予算(第1号) 全議員賛成

総額1,885万7千円とする。

一般会計からの繰入を50万円減額、コミュニティ助成事業助成金より雑収入を50万円増額。

再生エネルギーの取り組みは

穴井 帝史



【町長】 昨今どの自治体においても盛んな取り組みが行われている。1年前にした質問では前向きに取り組みたいとの答弁だったが、現在のどのような計画があるか。

【町長】 正式な申し出ではなかったが、今後ゆうステーションと執行部で協議し、早めに設置できればと考えている。

【町長】 経済産業省の調査に対しての補助事業に採択されれば着手したい。地熱発電は現在、民間の活力が発揮されており、温泉への影響など見守りたい。

【町長】 正式な申し出ではなかったが、今後ゆうステーションと執行部で協議し、早めに設置できればと考えている。

【町長】 正式な申し出ではなかったが、今後ゆうステーションと執行部で協議し、早めに設置できればと考えている。

【町長】 正式な申し出ではなかったが、今後ゆうステーションと執行部で協議し、早めに設置できればと考えている。

【町長】 正式な申し出ではなかったが、今後ゆうステーションと執行部で協議し、早めに設置できればと考えている。

【町長】 正式な申し出ではなかったが、今後ゆうステーションと執行部で協議し、早めに設置できればと考えている。

【町長】 正式な申し出ではなかったが、今後ゆうステーションと執行部で協議し、早めに設置できればと考えている。

これからの子育て支援

松本 明雄



行われる中で、過疎地域自立促進特別事業は、ソフト面の予算配分とあるが、今後その年度に応じた内容の変更の考えはあるか。

【総務課長】 非常に有利な起債であるので、今後の見直しも含め事業を推進したい。

【教育長】 3歳頃からの幼稚園・保育園での教育というのは非常に大事。幼保の連携をとり就学前教育をやっていきたい。

【町長】 保育園は福祉課、幼稚園は教育委員会に属しているが、今後は教育委員会へ一本化し、生まれてから20歳まで

【町長】 最近、集団登校の列に自動車が入り込むという事故が多発している。町内でも蔵原交差点から殿町間など、狭い通学路が多々ある。私としても子ども達が

歩道と車道が色分けされた道路



新学習指導要領が 完全実施に

北里 邦治



【教育長】学力の低下につながったゆとり教育を30年ぶりに見直し、学力強化に時間が増え、学習内容も変更になった。また、伝統と文化の尊重を目的として武道が必須になったと聞いています。こどもを持つ保護者には大変関心がある。保護者への説明と教育委員会の今後の方針は。

【教育長】以前は学校安全会、現在は日本スポーツ振興センター法に基づき保障を行っている。事故等がおこらないように十分注意して指導されるものと思っている。

柔道を取り入れる。有段者はいないが、受け身と礼儀を中心に指導。立ち技や寝技等の組む実技は実施しない等、事故が起きないように十分配慮する。

【町長】万が一の事故等が発生した場合の対応は。



練習の様子

【町長】人口は町の活力のバロメーターの一部。非常に大事な課題。役場の執行部内に少子化対策と定住促進を協議する政策課題研究会を設けた。

【情報課長】小国町の人口は90年が9854人、現在が7899人。課として、出会いと暮らしのツーリズム、小国町定住促進事業を目標に定めている。

【総務課長】将来人口

人口減少の対策と 教育との関連

渡邊 誠次



の予想は平成27年は6999人、平成32年には6192人、平成37年には5000人半ばの予測。非常に厳しい減少率を示している。

【教育長】学校の環境は物的環境と人的環境に分けられる。前者は検討中の総合施設の完成で他の都市部にも負けない。後者では先生方の環境を整える努力をしている。塾については保護者の願望があれば環境も整ってくるのではないか。

【町長】人口減少対策にも教育の部分も大事である。十分に協議検討する。

【町長】人口減少対策に

【町長】人口減少対策に

【町長】人口減少対策に

公契約条例の制定を

児玉 智博

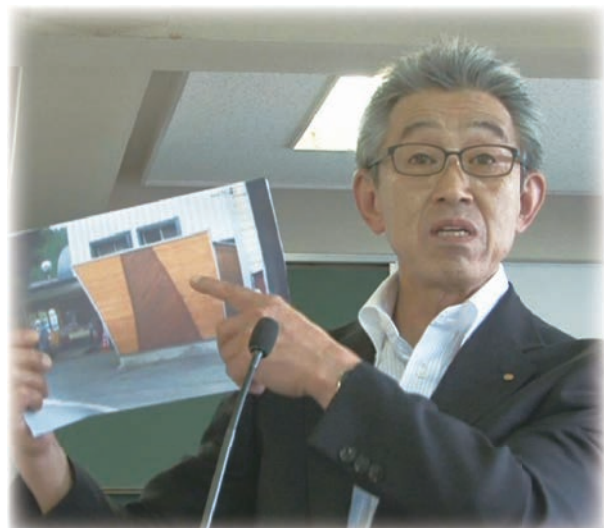


問 多くの事業者・労働者から「仕事が無い」「賃金が安く生活出来ない」との声があがっている。公共事業や業務委託の発注で、その事業に直接働く労働者の賃金等の労働条件を適切に確保させる公契約条例の制定の検討はなにか。
【総務課長】 まだ検討するにも至っていない。
問 公契約で働く労働者の実態は把握出来ているのか。
【総務課長】 今現在して

【総務課長】 工事での低価格競争入札はほぼ無い。指定管理を行っている所での給料も見おとりしないと聞いている。
下請けの下請けまで適正な賃金が保障される事は非常に大事。公契約条例を制定しないと言うのであれば、それに代わるようなきちんとした政策を示すべきだ。
問 前回質問の夫婦兄弟職員の勤務は住民の総意が得られない。採用時の面接でも説明する必要があると思うが、執行部ではどのような話題があつたか。
【町長】 意見の一つとして伺う。面接官などと協議していきたい。
【総務課長】 課長会議でどう思うか、職員組合にもどのよう捉えるか伝えた。
問 『阿蘇自然の恵み総本舗』の引揚げ時の契約はどうなっているか。
【総務課長】 現状回復と

公共施設全般について

時松 唯一



問 公営住宅申込みは何件あるか。
【建設課長】 直近では10件程度で減少気味。
問 電動アシスト自転車は、補助金購入で約30台。倉庫の建築費の方が高い。それに何が入っているかも分からない状況だ。色々検討する必要があると思うが。
【情報課長】 建築費が高い。看板は一枚。ゆうステーション立会で随分と検討した。
問 町の空間にスギトピア公園があり、車の往来もなく、小さなイベント場、親子連れのものになっている。
【建設課長】 基本的にはその通り。検討する。
問 町の借上地、公有地への職員の常駐駐車には料金を徴収する必要があると思うが。
【町長】 協議して良い結果になればと思う。

障がい者(児)福祉について

松崎 俊一

問 障がい者について施設での自立支援や在宅での支援など、小国町での現状は。

【福祉課長】身体障がい者610名、その内高齢者が458名、知的障がい者97名、精神障がい者29名。

問 旧小国学園について、民営化の効果は如何か。サービス、職員の処遇、収支状況は。

【福祉課長】サービス内容は変わらない。県下



でも民営化が多いなか、施設改修への補助金など民営の方が充実している。給与も県下の施設職員を参考に設定し、有資格者は正職員として採用されていると聞いている。

問 障がい者への差別や偏見に対する取り組みは。

【住民課長】平成5年に障害者基本法、県でも障害者プラン、小国町でも人権啓発基本計画

を策定している。

【教育長】阿蘇郡では支援教育の推進、人権同和問題研究大会も行われている。小国町議会からも今年発表がある。

しっかりとした障がい者福祉の取り組みとあらゆる差別、偏見を無くす取り組みをお願いしたい。

地熱発電開発に町として環境影響調査のモニタリングが必要。

九重町の菅原地区において、九重町と九州電力がNEDOから譲りうけた地熱井戸で、発電のための噴気調査を開始された。また、岳ノ湯地区においても地元及び企業が地熱発電に向け調査を進めている。

町として、このような開発について現状把握と、発電が開始された後の環境を把握しておく必要がある。温泉の湯量・温度・成分把握

地熱発電開発に環境影響調査が必要

奴留湯 哲宣

握と地下水の水位、そして降水量との関係など調査依頼するか、町で調査をし、全体を把握することを要望する。

浄化槽の

一元管理を早急に望む。

熊本県では、浄化槽の現状把握と環境を守るためには一元管理が必要と載っていた。町も県より現状調査と今後の計画を打診されているようである。

農業集落排水加入数 495戸・合併浄化槽 848戸・単独浄化槽 183戸・その他汲み取り等1526戸で生活排水処理施設率は55.1%である。生活排水処理施設率の向上を図



るには、積極的な取り組みと、住宅密集地などでは小規模合併浄化槽の提案など行う必要がある。



岳の湯

公営住宅のこれからの整備計画

北里 勝義



進める。また、柏田住宅浴室改修工事を引き続き行い、平成25年度に、公営住宅長寿命化計画を策定し、関田・柏田住宅の大規模改修工事に着手したい。

【建設課長】倉原住宅の整備計画が進められており、公営住宅の改修事業が今後本格的に進められると思う。改修計画に伴い、住宅マスタープランや公営住宅ストック総合活用計画が見直されていくと思うが、特に住宅マスタープランは、公営住宅の供給管理以外に、町全体の住宅施策を展望するもの。今後の改修計画の考えは。

【町長】住宅マスタープランでは、小国町全体の住宅の供給を民間も含め考えなければならぬ。今後倉原住宅の建て替え、関田・柏田住宅の大規模改修事業を進め、住宅の供給について、状況を見ながら検討する。

【北里柴三郎記念館の老朽化が進んでいる。改修等の考えはないか。】

【町長】生誕160周年ということ、北里大学及び北里研究所と連

携をしながら改修を進めたい。

【情報課長】昨年、北里研究所等と現状調査及び改修に向けた協議を行っている。

【北里柴三郎博士顕彰事業で、小国の子どもの参加はないか。】

【教育長】小国の一環として、教材として十分な内容だと思おうので、連携しながら進めたい。

【まちづくり条例を制定して15年、改訂して10年たち、内容を精査しなおす必要性があるのではないか。例えば5万〜10万㎡の大規模な土地の売買や、水源付近の開発とか、時代に合った条例にしていく必要があるのではないか。】

【町長】条例だから現状に則することが一番。変える必要性があれば協議していきたい。

【情報課長】まちづくり

時代に則したまちづくり条例を

梅木 隆志



審議会という組織がある。その中で他町村との比較とか、研修会等行っていきたい。

【町長】老人には老人なりの生活設計があり、より良い老後を送るために、介護保険の被保険者に介護保険の経費軽減処置について、例えば老人会などで詳しい説明が必要ではないか。

【福祉課長】減免制度だけではなく、介護保険自

体の理解が十分でない。老人会の総会等で、積極的に説明したい。

【町政座談会が去年度は実施されなかったが、町民の意見を聞き、反映させるため町政座談会は大切と考えるが。】

【町長】本年は是非実施したい。町民との意見のキャッチボールができるのは座談会が一番良いので、計画していきたい。



【町を元気にするために、議会では産業特別委員会を立ち上げ、町おこしを執行部と話合っている。議会には執行権がないため、執行部に出す議題に

【町長】小中学校のプール・給食施設・柔道教室・ランチルームを複合施設として計画されている。右記既存施設は、大変古く、建て替えが財政上の問題から先延ばしされてきた。町長の努力で財政も好転したが、複合施設建設となると建設費多額で、貯金や補助金では足りず、起債つまり借金をしなければ建設出来ない。施設を作るより町おこしが大事。借金完

【町長・教育長】既存施設の建て替えは、大変古くギリギリの処まで先延ばししてきた。建設場所、小中一貫教育、利便性の問題から、現在地での複合施設が最善の方法と考えている。経費削減は着手まで努力したい。

町おこしの実りある組織を目指す

原山 光成

第5期小国町高齢者福祉計画 (平成24年度から平成26年度) 及び介護保険事業の計画書を策定

町内の高齢者が可能な限り住みなれた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、本町の実情や特性等を反映させた医療、福祉の一体的、総合的な提供体制を充実するための計画です。

【町長】議会と執行部との座談的な会議というのは、可能と思う。後日相談させていただきたい。

【町長】議会で執行部と部との壁を取り去った町おこしの方法論を考える時期だ。

【町長】議会は終始して、議論を繰り返しても実行しない。町民が一番実行して欲しい事は町を元気にする事だ。町を元気にするために従来からの議会と執行部との壁を取り去った町おこしの方法論を考える時期だ。

平成23年度小国町一般会計費用を24年度へ繰り越し、以下のような事業を実施します。

総額1億4,903万9千円

・木野里荘スプリンクラー設置事業	550万円	・小国町耐震改修促進計画策定事業	493万円
・木野里荘避難路外整備事業	700万円	・町道維持事業	2,684万6千円
・サイクリングマップ作製事業	70万円	・町道新設改良事業	3,417万5千円
・鍋ヶ滝公園整備事業	5,240万円	・消防団安全対策設備整備事業	218万8千円
・J-VER事業	70万円	・公共土木施設災害復旧事業	1,460万円



会議の種類

本会議

定期的（3月・6月・9月・12月）に招集される定例会と必要があるときに招集される臨時会があります。招集は町長が職権で行います。

常任委員会

議員は必ずひとつ以上の常任委員会に所属しなければなりません。小国町には総務文教福祉委員会と産業委員会があります。

特別委員会

議会が特定の事件の調査を付託し、その事件について調査、審査できる委員会です。現在、小国町議会には広報特別委員会、産業特別委員会、100条特別委員会が設置されています。

議会運営委員会

議会運営に関する事項、会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項等、議会を円滑に運営するための委員会です。

全員協議会

議員相互の意見、また執行機関と議会側の意見調整を図り、本会議の議事を円滑に進めるための会議です。

次回の小国町議会開催は9月中旬予定です。

みなさんの傍聴をお待ちしています。

※9月議会の一般質問のおぐチャン(10チャンネル)放映は10月初旬予定です。

編集後記

前号から、「わかりやすい議会」ということで、掲載しています。なかなか分かりにくい用語が多いと思います。言葉的にどうしても、使わなければならない言葉もありますのでご理解をお願い致します。

議会広報委員会も一年ひとまわりしました。町民の皆様に見やすい議会広報ということで日々努力しております。町民の皆様が議会広報に関する提案等が有りましたら、事務局までご連絡ください。

広報特別委員会

委員長 渡邊 誠次
副委員長 梅木 隆志
委員 奴留湯 哲宣
児玉 智博

発行責任者

高村 祝次